



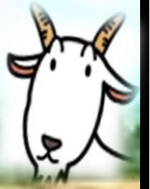
進いしん 盈

令和3年11月16日

第11号(学力向上特別号)

上田市立中塩田小学校

発行:丸山真弘(教頭)



中塩田っ子、学習、頑張ってます！ その6年生 全国学力・学習状況調査の結果分析より

5月に実施された全国学力・学習状況調査(対象:6学年)の結果から、本校の傾向を分析いたしましたので、報告いたします。(○は成果、▲は課題)

【国語】

全国とほぼ同レベルの正答率でした。学習指導要領の内容別に見ると、【話すこと・聞くこと】が全国平均より高く、【言葉の特徴や使い方に関する事項】が低いという傾向が見られました。

○「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」「目的や意図に応じ、資料を使って話す」の問題がよくできており、【話すこと・聞くこと】の力が定着しています。

▲「漢字を文の中で正しく使うこと」「修飾と被修飾の関係を捉える」に関する問題の正答率が低く、【言葉の特徴や使い方に関する事項】に課題がみられます。

《今後の指導》

- ・家庭学習での漢字練習や授業での作文指導を充実し、漢字を日常的に使う習慣の定着を図る。
- ・語彙を増やしたり、様々な文章に触れる機会を多く作ったりすることで、「読む・書く」力の定着を図る。

【算数】

全国とほぼ同レベルの正答率でした。内容別に見ると、『数と計算』『図形』『測定』『変化と関係』では全国平均より上回っており、特に『変化と関係』においては正答率が全国より5.1%と大きく上回りました。

○「速さを求めるわり算」「速さと道のりを基に、時間を求める」問題がよくできており、問題文から関係をとらえて計算する力が定着しています。

○「三角形の面積の求め方」がよく理解できています。

▲「複数の図形を組み合わせた面積を求める」「データを二次元表に整理する」問題に課題がみられます。

《今後の指導》

- ・面積を求めようとしている図形の特徴をとらえて求め方を説明したり、その求め方に適した公式を正しく使ったりできる力の定着を図る。
- ・表を適切に分析したり、データを整理分類したりできる力の定着を図る。



【児童質問紙】(学校・家庭生活に関する質問)

- ・道徳、算数の教科に興味を持ち、進んで取り組んでいます。また、国語が大切だと感じたり、英語を学校の授業以外で使ったりする児童の割合が多くありました。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大のための休校期間中に、計画的に学習が進められたと感じた児童が多くいました。
- ・ICT機器を授業で使用することに對する興味関心が高いです。

中塩田小学力向上への取り組み

上記の全国学力調査の結果や4月に実施した4・5年生の学力検査の結果をふまえ、本校では学力向上に向けて、以下のような取り組みを行っています。

(1) 授業改善を目指した取り組み

① 授業のUD(ユニバーサルデザイン)化・・・全ての子どもにとってわかりやすい授業
視覚的、具体的、肯定的な授業づくりを通して、児童が主体的・対話的で深い学びができるように努めています。これまで5学級で、授業公開もしています。



UD化 3年公開授業より

② 多層指導モデル(MIM)の実施

通常の学級において、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援として1、2学年で計画的に取り組んでいます。上田市全体でも推進されている指導です。MIMを日常的に取り入れることで、読みの力が向上しています。



外部講師によるMIMの授業

③ Chromebookの活用

学年の計画にそって、日常的に活用しています。授業の振り返りや児童間での意見交換、個々の進度に合わせたお手本動画の視聴などで積極的に活用しています。

(2) 少人数学習指導(算数)

5・6年生では、3クラスを4つに分け「習熟度別少人数学習」を行っています。子どもたちが落ち着いた環境の中で学習ができます。少人数で学ぶことで、一人一人に丁寧な指導ができ、基礎的な内容の習熟ができています。



使い方を伝授! ICT支援員

(3) 地域ボランティアと連携した「チャレンジタイム」の実施

朝の活動(8:25~8:40)を通年行っていますが、毎週2回(火と木)は、国語と算数の基礎学力の定着を図るために地域の学習支援ボランティアの方に関わっていただき、「チャレンジタイム」を実施しています。ドリル学習を中心に行っていますが、学習支援ボランティアの方には通年で各学級に入っていただき、児童が取り組んだ解答の○付けをしていただいています。その間、学級担任は、児童への学習指導に専念することができ、手厚い指導をすることができています。本年度は、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学習支援ボランティアによる○付けボランティアがなかなか実施できない状況でありましたが、レベルの引き下げに伴い、現在は毎週充実したチャレンジタイムの時間を送れています。



○付けの様子

(4) 学習支援ボランティアによる低学年の外国語指導

例年実施していた学習支援ボランティアによる1、2年生への外国語指導ですが、コロナ渦のため実施できておりませんでした。しかし、感染レベルの引き下げにより、11月よりスタートしています。子どもたちは元気よく体を使った英語の歌を歌ったり、自己紹介のような身近な会話をしたりして、学習支援ボランティアの竹花先生と英語を楽しんでいます。



1年生の授業の様子

文責：滝沢佳久(研究主任)

